



# 米沢有為会 仙台支部だより

第 30 号

令和5年12月20日

発行者

(公社)米沢有為会仙台支部

支部長 鈴木 修治

仙台市青葉区角五郎2-6-21

TEL 022-222-4790

## 6年振りの広瀬川河原の芋煮会 10.14 参加者 14名

### 有為会の近況

#### 総会の開催

六月二四日に支部総会・講演会を開催しました。支部長は甲國信氏から鈴木修治氏に代わりました。今後ともご支援よろしく願います。

#### 議事

令和四年度事業報告並びに決算報告と監査報告

令和五年度事業計画案並びに予算案  
令和五年度仙台支部役員選任

以上の議案について審議の結果、原案が承認された。

新年度事業計画は新型コロナ流行以前の年間事業と同様の事業を実施することになりました。

支部役員選任では支部理事を永年務められた安部金之丞氏及び鈴木良平氏が退任されました。長年に亘り有為会活動にご尽力賜りました。厚く感謝申し上げます。

#### 講演会

講師 東北植物研究会会長 上野勇規氏

演題 牧野富太郎と米沢出身植物学者小泉源一の業績

二人の関係やら植物の新たな命名由来等から富太郎の人間味の一面を感じ

#### 交流会

夏の交流会

八月五日 仙台七夕前夜祭の花火大会の鑑賞会を仙台興讓館寮の屋上において行いました。

秋の交流会

十月十四日に寮近くの広瀬川にかかる牛越橋近くの河川敷広場において芋煮会を行いました(上の写真)。

#### 仙台興讓館寮の近況

四月に新入寮生二名を迎え、七名の寮生で新年度の開始でしたが、八月に一名が就職の予定から退寮しました。

三年前寮母さんが変りました。以前と同様に寮生のため限りある予算で食事を提供して頂いています。

米沢のCCSスタジオで撮影・編集した仙台興讓館寮の新しい案内動画がYou Tubeにアップされ、サイトには2ヶ月で250人以上の訪問がありました。

#### 仙台興讓館寮の改修工事

一階と二階のトイレを和式から洋式に交換すると同時に、漏水が見られるトイレの配管を交換する。

厨房の古く使用に難いガスレンジ台の交換取り付け。

られて興味深く拝聴致しました。

厨房のシロツコフアンの取り付け。  
以上三点について、九月の東京本部  
理事会において改修工事及び改修費用  
を審議して頂き、了承されましたので  
十月初めに発注し工事を開始、十月末  
工事が完了しました。

### 会員の異動

現在の会員数は八一名となっていま  
す。賛助会員と正会員が八〇名で、法人  
会員が一社です。会員の方々の高齢化  
が進んでいます。今後更にこの傾向  
が強まるものと思われ、ことから、  
会の活性化には若い会員の増加が望ま  
れるところです。

(仙台支部長 鈴木 修治)

## 会員のコーナー

仙台で学び仙台を離れて、再び仙

台に戻って

那須 謙治

私は2002年4月に東北大学理学  
部に入學してから約10年間、仙台興  
譲館でお世話になりました。ちょうど  
受験勉強をしているときに9・11の  
同時多発テロのニュースを見たことは

今でも印象に残っています。私が入寮  
したときに一緒に入った新入生は6人  
で、地元が同じという安心感もあつ  
て、寮での生活だけでなく、みんな  
旅行に行ったりと仲良く寮生活を送る  
ことができました。また、先輩方も同  
郷であるため、気軽に学生生活やアル  
バイトなどについて相談したり教えて  
いただくことができる環境であつたと  
思います。最近、久しぶりに寮の先輩  
方と仙台で飲む機会があり、寮でのこ  
とについて話すことができ、そのとき  
のことを思い出すきっかけとなりまし  
た。私は2011年の3月に博士号を  
取得し大学院の卒業と共に退寮しまし  
た。ちょうど卒業するタイミングで東  
日本大震災が起きました。私は、そ  
のとき、大学の居室におりましたが、  
8階だったせいか建物が大きく揺れ  
て、本棚やパソコンなどが倒れて、ま  
た建物自体も大きな割れやひびが入っ  
て大変な状況でした。一方で、寮に帰  
ってみると、それと比べるとほとんど  
何事もなかったかのようで、寮の建物  
の堅牢さをあらためて認識したことを  
覚えています。物資不足や電気水道ガ  
スのストップによって地震後の生活は  
一変しましたが、集団生活という寮の  
利点が生かされ、比較的安心して生活  
することができました。2年ほど仙台  
にいたあと、東京で仕事をすることに

なりました。最初は、東京大学でポス  
ドクという任期付きの研究員として働  
きました。東京に行く前は、東大は天  
才がたくさんいて怖いところだと思っ  
ていました。実際に行ってみると、気  
さくで面倒見の良い先生ばかりであ  
り、とても多くのことを学ぶことがで  
きました。また、東大以外からきた大  
学院生も多く、彼らとの議論はとても  
刺激になりました。東大にいたのは1  
年ですが、何年もいたような濃密  
な時間を過ごすことができたのは本当  
に幸運でした。その後、東京工業大学  
で助教に就任しました。やっと東京に  
なれてきたことであり、そこでも多く  
の先生方や学生とつながりができまし  
た。海外の研究所を訪問する機会が増  
えてきたのもこの時期でした。特に、  
共同研究者と議論するためにイギリス  
のケンブリッジに行ったときのこと  
が印象に残っています。私が訪問したの  
はケンブリッジ大学のキャベンディッ  
シュ研究所であり、私の専門である物  
理学分野で非常に多くのノーベル賞受  
賞者を輩出した著名な研究所です。物  
理学分野だけでなくワトソンとクリッ  
クのDNAの二重らせん構造を解明で  
も有名です。その建物はどれだけ立派  
なんだろうと思って期待していました  
が、至って普通の古めの建物だったと  
いう印象だったことを覚えています。

しかし、そこには卓越した研究者が集  
まっており、そのギャップの大きさに  
驚きました。他の仕事全般に言えるこ  
ともかもしれませんが、施設の外見では  
なく、そこに集まる人材が重要である  
ことを改めて実感しました。東工大に  
いたのは5年ほどで、国内外の研究者  
の方々と多くの研究を進めることがで  
きました。2018年4月に文部科学  
大臣表彰をいただいたのは、その賜物  
でした。そこでは、偶然にも寮の先輩  
である今井良宗※さんと一緒に受賞  
しました。それに関しては、以前、今  
井さんが米沢有為会仙台支部だよりも  
執筆※されていたとのことですので  
割愛させていただきます。その後、私  
は横浜国立大学に准教授として異動し  
ました。そこから自分の研究室を立ち  
上げるといふことになりました。どの  
ように研究室を運営していくか難しい  
ときもありましたが、東北大、東大、  
東工大で所属していた研究室を参考に  
してなんとか自分なりに研究と教育を  
進めていると努めました。そう  
こうしているうちに3年ほど過ぎた頃  
に縁あって東北大に戻ることに、  
現在に至っています。文部科学大臣表  
彰をいただいていたから早いもので5年  
になります。今井さんとは同僚になり  
ました。さらに科研費という予算で共  
同研究をさせていただいています。寮

で学生時代に一緒だった頃はそこまで研究分野が近いわけではなかったと思うのですが、最近、同じ研究分野に取り組むようになってきたこともあり、また、仙台という学生時代に学んだ土地に共に戻ってきたこともあり、一緒に研究をさせていただくことになりました。これも、遠からず仙台興譲館でお世話になったことがきっかけとなっており、学生時代だけではなく、今でも生き続ける人のつながりを作っていたいただいた米沢有為会には大変感謝しております。今後は、大学での研究教育による人材育成だけでなく、地元への貢献もできたらと考えております。この前のお盆に長井に帰省したとき、「くると※3」という施設ができていたということで行ってみたところ、とても立派な施設でした。これが無料で利用できるというのですから大変な驚きです。遊びと学びというコンセプトの施設ができたことは、長井の子供たちのたちにとって大変幸せなことだと思います。私自身、これまで多くの入寮方々から助けをいただきましたので、微力ながら地元の学びにも貢献していけたらと考えています。

注：※1 「今井良宗さん」 那須譲治さんの5年先輩、現在東北大学理学研究科准教授

※2 「仙台支部だより20号」平成30(2018)年発行

※3 「くると」 長井市に今年できた遊びと学びの交流施設

(東北大学大学院理学研究科准教授)

**仙台支部年間行事予定**

※仙台興譲館行事

12月以降の行事は未定か中止

■ 12月

※忘年会 (寮生会主催) (会場：仙台興譲館) ↓ **中止**

※12月16日(土) 寮生総会

■ 1月

※1月8日(日) 第一回入寮面接

※1月14日(日) どんと祭

※新年会兼卒業生歓送コンパ (寮生会主催) (会場：仙台興譲館) ↓ **中止**

※2～3月 温泉旅行又は食事会

※3月11日(月) 第一回入寮面接

※3月24日(日) 第二回入寮面接

※今年から入寮希望者があれば随時入寮面接を実施

※3月 末日 寮生総会

**行事報告**

**花火大会鑑賞会(支部主催)**

日時 令和5年8月5日

会場 仙台興譲館寮屋上

参加者 会員5名、家族2名、寮生2名

計9名



**芋煮会(支部主催) (写真1頁)**

日時 令和5年10月14日

場所 牛越橋下広瀬川河原

参加者 会員9名、家族3名、寮生2名

計14名

**仙台興譲館寮の改修工事**



古い4口のガス台



新しい2口のガス台

# You Tube

## 仙台興譲館寮の紹介に参加して

今回、撮影・編集のプロの方に寮のプロモーションビデオを作成していただきました。完成した動画を見た感想としては、寮の魅力が最大限伝わるようなどても良いビデオになったと思います。動画を見ると、私の出演時間が多いようで少し恥ずかしい気持ちになりましたが、しっかりとインタビュアーに答えていただきました。この動画を見て、入寮を決める人が一人でも多くなるといいなと思っております。

(寮生 鈴木 優)

今回は興譲館寮の新しい紹介動画に参加することができ、とても光栄です。私個人としてはインタビュアーを通して寮生活の素晴らしさなどをしっかり伝えることができたいと思います。完成した紹介動画は、終始明るい雰囲気です。ドローンなども駆使した制作された方々の技術の高さが伺えるものであり、とても素晴らしい動画です。

(寮生 菅 桜太郎)

寮の紹介動画に出演させていただくという貴重な体験をすることができて

光栄に思います。カメラを前にするというのは慣れないことで緊張しましたが、仙台興譲館寮の一員としての等身大の思いを発信することができたと思います。今回の紹介動画をきっかけに、入寮希望者が増えてくれたら非常に嬉しいです。

(寮生 杉山 綾太)

この動画は、You Tubeで「仙台興譲館寮」と入力すると視聴できますので、是非ご覧ください。

## 寮の生き物

### コアシナガバチ

7月中頃、寮の横の通路に車を置いていた女の方が寮に来て、寮母さんに境界の金網にハチの巣があるので除去するよう苦情を言いに来た。

スズメバチなら大変なことになると思い、行ってみると体調1.5cm程度の小さなハチで、巣も小さい(写真)。図鑑で調べるとコアシナガバチで攻撃性は弱く、巣に触れないと攻撃しない。指・顔を近づけても攻撃するようない。ただ10月に鎌で草刈りをやった時、巣に触れたのか腕を刺された。子供の頃、もっと大きいアシナガバチには何回も刺され、スズメバチにも米沢の自宅の土蔵の軒下に作られた40cm程の大きな巣を竹竿でつついたハチが真直ぐ飛んできて攻撃、首を刺された。その時は自分が悪いのだと思い、母親にも言わず自分のオシッコを首に薬代わりに塗り付け処理した。ハチの間はすべて攻撃性があるわけではない。スズメバチ以外は巣に近づきすぎたりしなければ刺さない。コアシナガバチの巣の形は面白い。新しく付け足した巣は船の形をした尾のように、後ろに伸び反り返っている(写真)。

(滝口 政彦)



寮の金網に着いたコアシナガバチの巣 7.13



コアシナガバチの巣 11.20

編集後記：新型コロナも少しずつ収まってきたように見える。支部行事の6月の支部総会、8月の花火大会鑑賞会、10月の芋煮会は数年ぶりに実施した。寮生主催の忘年会と新年会はコロナのせいで舎生会で実施しないことに決定した。ここ数年間で若い人たちの行動様式・考え方に大きな変化があるようにも見える。教室ではなく、他人との接触がないオンラインによる授業で同級生との触れ合いがないなどの影響があるのかもしれない。昨日有為会誌の発送作業で寮に行ったら工学部の生徒がオンライン授業を受けていたのには、まだやっているのかと驚いた。今度はインフルエンザで、寮生が感染し、自室で監視状態で過ごすことになった。よいお歳をお迎え下さい。

(責任者 滝口 政彦)